

海浜の自然環境を守る会ニュース

第57号 2018年12月15日

663-8143 西宮市枝川町19-10 甲子園浜自然環境センター内 甲子園地区埋立事業対策協議会気付

<http://www.npo-koshienhama.com/>

浜甲子園鳥獣保護区指定40周年記念★特別展

今年は浜甲子園鳥獣保護区指定40周年の記念の年。

1971年の甲子園浜全面埋立計画発表を受けて、南甲子園小学校PTAから始まった、甲子園浜埋立公害反対運動のさなか、海が生きている、渡り鳥たちが来ていると、母親たちが署名を集め、国会に請願して1978年実現した鳥獣保護区。それを記念して、特別展を開催しました。

甲子園浜自然環境センターで10月23日から28日まで、延べ270名の来展がありました。



全て鳥たちが食事している写真。甲子園浜は鳥たちのレストランなのです。



子どもたちに貝のクイズ。正解すると貝がらがもらえます。

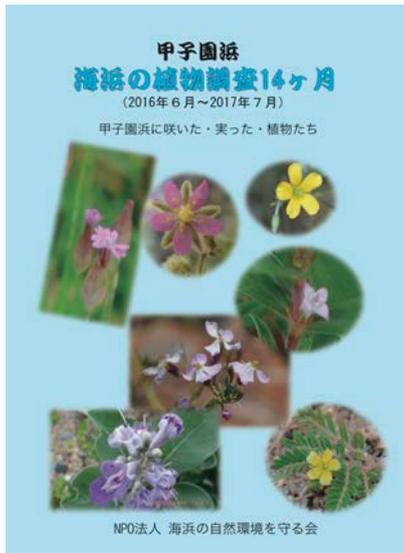


甲子園浜に飛来したことがある鳥たち。ミヤコドリ、セイタカシギ、カラシラサギなど。再来を望む。



最終日、韓国の高校生たちが立ち寄ってくれました。

『甲子園浜 海浜の植物調査 14 ヶ月』発行



兵庫県生物学会阪神支部が甲子園浜の植生調査を12年にわたり行なっています。今も継続中ですが、そのお手伝いをするうちに自分たちでも甲子園浜の植物を知りたく

なり、生物学会阪口先生の指導のもと、甲子園浜のほぼ端から端まで、2016年6月から2017年7月まで毎月調査を行ないました。その記録です。今年の集中豪雨、台風21号で、すっかり砂に埋もれた地域もあって、図らずも被害を受ける前の甲子園浜の植生の状態を残す貴重な資料となりました。これからも調査を続けていきたいと考えています。

活動報告

- 9月16日日 海浜清掃 256名
可燃ゴミ 2400kg、不燃ゴミ 370kg
- 9月29日 西宮市市民交流センターにてボランティア交流会
- 10月14日 第11回大阪湾生き物一斉調査発表会
- 10月23日～28日 保護区指定40周年記念特別展
- 11月1日 堤防壁に銘板取り付け
- 11月3日『甲子園浜 海浜の植物調査14ヶ月』発行
- 11月4日 伊藤ハム合同クリーンアップ 144名
可燃ゴミ 310kg、不燃ゴミ 10kg
- 収集ゴミはいずれもヤマサ環境エンジニアリング調べ
- 11月5日～12月3日 植生調査12回
- 12月7日 連凧作り研修
- 12月11日、14日 甲子園浜小学校5年生環境学習

活動予定

- 12月19日(水) 南甲子園小学校3年生野鳥観察会
平成31年1月13日(日) 連凧あげ

鳥獣保護区指定40周年記念銘板

1978年鳥獣保護区の指定を受けて40年。住宅街のすぐそばに自然の海浜があって、住民の憩いと安らぎ、学習の場として親しまれていますが、かつては全面埋立される危機があり、地域住民が国と県に対して訴訟をしてみても守ったということを知らない方もおられます。甲子園浜の歴史を伝えなければ、自然を守り続けていく原点を見失うと考えて、甲子園浜のあゆみを記した銘板を、甲子園地区埋立事業対策協議会、西宮市、兵庫県とともに堤防壁に設置いたしました。

12月2日、実際にPTAから住民運動にたずさわってこられた方たちに来ていただき、銘板をお披露目して当時のお話を聞くことができました。



PTA役員会で、当時の尾埜会長に、この問題（甲子園浜埋立）やるんですかどうするんですかと聞かれて

も、誰も何も答えない、シーンとしてるんです、そりや今までやったことないことですから。やるなら超党派ですること、主婦らしくやることの二つはきっちり守ることにしたのです。

市役所で座り込みするときも当番の連絡表があって、乳母車で小さい子連れて行くんですよ、子供はお絵描きしたりしてる、市長さんとも親しくなりますよ、それで子供が学校から帰る頃には帰るんです。

鳥獣保護区の請願に東京へ行きました、学校の先生もカンパしてくれたね。鳥や生き物など甲子園浜のアルバムをこしらえて環境庁長官さんに見てもらいました。

高校野球の時には家の前でたこ焼きを売りました。それを焼いたのは私で、習いに行っただけ、今でも上手です。いろんな人材がいたんですね、それぞれの得意なことを生かして、それでやってこれた。今思えば、優雅な運動でした。

県、国を相手にしているというのに気負うところなく自然体でいる当時の母親たちの様子が伝わる会でした。